

もっと「同友会大田支部」を知ろう！ 参加しよう！

NEWS

おおた の同友

OTA
NO
DOYU

2025年度

大田支部 の年末

大田支部からの
お知らせ

大田支部会員数は

181名
(期首184名)です。

広報委員会

広報委員会：渡辺大
(株式会社芝橋)
平林正樹(順天堂大学)
広報委員長：針谷周作
(コトノハ株式会社)
発行：一般社団法人
東京中小企業家同友会大田支部



8月22日に大田支部納涼会が行われました。
浅草の老舗すき焼き店「米久本店」で冷えたビールと
すき焼きを堪能し浅草演芸ホールで落語を観覧しました。

 大田支部インスタグラムをフォローしよう！



おおたの同友 123号(2025年11月発行)

入会のご希望は、 | **東京中小企業家同友会大田支部** ☎03-5829-8988

住所：千代田区岩本町3-9-13 岩本町寿共同ビル3階

「根性を入れた、責任あるおせっかい株式会社 ～自分の会社より他社のために、 その行動の根 底にある想いとは～」

開催日:6月26日
場 所:大田区産業プラザPiO

報告者: **高橋宏之**氏(ワンライト株式会社 代表取締役社長)

印刷事業を行う高橋社長のワンライト株式会社では、それまで扱っていた伝票が次々と電子化されるという逆境の中、さまざまな取り組みを行い奮闘してきた。そのひとつに、障害者雇用がある。早くから障害者雇用を取り入れたが、当時働いていた障害者雇用の社員が自殺したことで、大きな落胆をするも、その後立ち直り、前向きに経営に取り組んできた。これまでのさまざまな奮闘を、パワーポイントを使用せず、自身の言葉で熱く語っていただいた。



レポート:広報委員会

製造部会

老舗工場見学会

開催日:7月23日 場 所:株式会社 芝橋、三和電気株式会社

このたび、株式会社芝橋様と三和電気株式会社様を見学させていただきました。芝橋様の工場は、創業100年の歴史がある製造業。埃がないくらい清潔で整った空間でした。そして「こんなに沢山の商材がどこに何があるかって把握してるんですか?」と尋ねた私に「そうだよ、わかるよ」と返してくださった職人さんの笑顔に、職人魂と誇りを感じました。

三和電気様では、若手の女性社員さんが堂々と説明してください、その一言一言から会社へのあふれる愛情が感じられ胸を打たれました。管理体制も徹底され、5Sの美しさには驚くばかり。厳しい時代の製造業にこそ、こんな輝きがある。だからこそ、もっと多くの仲間に見学会を広め、共に学び、製造業の未来に繋げていきたい。心から、ありがとうございました。



レポート:田中和江(株式会社テイ製作所 練馬支部)

「右腕が育たないのはあの人のせいではない!?」 経営者が気づいていない「関係構造」と育成の本質

講師: 戸谷益三氏 (株式会社 志践塾)

戸谷先生は日本ロレアルという外資系化粧品会社で36年教育部門に従事された方です。その後、株式会社志践塾という会社を立ち上げ、日本中の中小企業を元気にするという志の下、事業を行っています。化粧品会社の代理店を36年教育する中で、成功している企業の共通点を見つけました……。

それは……右腕が優秀なことです!

企業において、優秀な右腕を育成できれば、日本中の中小企業が元気になるのではという信念の下、活動されています。

戸谷先生のセミナーではアウトプット&実践型のセミナーとなっております。

講義を聞いて終わりではなく、経営者と右腕と従業員が具体的に何を行動するかを他社の方と話をしながら、決めて、発表していきます。

企業経営における「右腕」の育成と、自律的な組織を築くための方法に焦点を当てています。

「右腕が自律的に育つ」ためには、以下の3つの要素が重要です。

- 1. 仕組み: 環境・制度・ルール
- 2. 関わり: 経営者・上司・部下
- 3. 経験: 役割・失敗・挑戦

経営者として「右腕」と信頼関係を築くためには、目的と価値観の共有、任せて見守る姿勢、日常の雑談や対話の重視、感謝・承認の伝達、率直なフィードバックが「すべきこと」として挙げられています。一方で、「全部自分で決める」「他人と比べる・責める」「陰で悪口・愚痴を言う」「指示と管理だけで動かそうとする」「フィードバック

を怖れて避ける」といった行動は信頼を損なうため、「やめるべきこと」とされています。また、部下が本音話し、主体的に動くようになる関係性として、「心理的安全性」(ミスしても否定されない、意見を受け止めてもらえる環境)、「信頼されていると感じる関係」(細かく管理されず、失敗しても向き合ってくれる)、「期待されていると感じる関係」(自分の存在価値を感じ、成長を応援されている感覚)が挙げられています。

組織作りにおいては、右腕、右腕の右腕(中堅社員・リーダー候補)、若手社員を適切に巻き込み、それぞれの役割に応じた権限委譲と育成を行うことが重要です。特に若手社員には、「小さな挑戦」の機会を提供し、成功・失敗を通して成長を促すことが推奨されています。

部下が自発的に「報連相」を行うようになるためには、「心理的安全性・信頼・歓迎ムード」のある「空気」作り、「定例の1on1

開催日: 7月24日
場所: 大田区産業プラザPiO



やミーティングなどの「仕組み」作り、そして「いつでも相談していい」「報告ありがとう」といった「安心と信頼を伝える言葉かけ」が不可欠であるとまとめられています。最後に、戸谷益三氏が講師を務めるセミナー(「職場の空気を良くする同友会主催セミナー」や「右腕塾」など)の案内も含まれており、これらの課題解決に向けた具体的な支援が提供されていることが示されています。



レポート: 岩瀬邦明氏 (株式会社ホワイトホームズ 代表取締役社長)

8月例会 (担当:リバーサイドブロック会)



大田支部納涼会

開催日: 2025年8月22日
場所: 米久本店、浅草演芸ホールほか



8月22日に大田支部納涼会が行われました。当日は、東京駅に集合してはとバスに乗り込み、目指すは浅草。浅草寺の駐車場にバスを止め、すき焼きの老舗店「米久本店」でビールとすき焼きを楽しんだ後は、浅草演芸ホールで落語を観覧。その後、バスに乗り込み、首都高を通過して銀座の夜景を眺めながら、出発地点の東京駅に到着し解散。例年とは一味違った納涼会を皆で楽しみました。今回参加できなかった方は、ぜひ来年の納涼会にご参加ください。



2025年度の新会員の皆様紹介



新しく入った仲間たちです。既存会員の方々は、ぜひともフォローをお願いいたします。



株式会社 三菱
野本将樹

☎080-4203-0542

事業内容：WEB制作、人材育成、仲介業務。スポーツ選手・アスリート等のマネジメント業務。各種スクール等企画運営



(株)エムズ
クリエイティブシステム
牧野靖宏

☎03-6450-4139

事業内容：ソフトウェア開発



ぐっどびーす(株)
大場良平

☎03-6822-4228

事業内容：ソフトウェアの企画、開発、運用、販売



ムービングエッジ
コンサルティング
岩動恭二

☎080-6547-6191

事業内容：組織コンサルタントとして、生産性向上、組織開発、事業計画策定支援などを行っています。



エスケイサポート
菊地真一

☎080-4187-8686

事業内容：生命保険を活用した、相続対策や事業継承のお手伝いを致します。福利厚生、退職金の準備もサポートします。



(株)レーヴェ・ミュージス
松葉しほり

☎090-2845-9427

<https://www.lowemus.com/>

事業内容：新規事業開発支援、仕組化コンサル、メンタルコーチング、各種研修・ワークショップ企画実施

※2025年10月末入会までの方を紹介しています。

経営者が おすすめする本

『逆境を越えてすすめ 中小企業の経営者列伝』

著者：平林正樹 (順天堂大学)



長らく本誌「おたの同友」で順天堂大学特任教授の平林正樹さんが2021年から執筆連載されてきた「経営者列伝」が、ついに1冊の本になりました。「おたの同友」での連載原稿を大幅に追記編集し、「逆境」をキーワードに、それを乗り越えてきた経営者の人生にスポットをあてた1冊になっています。思えば、島村前支部長(株式会社ルミナス 代表取締役)から本連載の発案をいただき、その後、さまざまな先輩諸氏をはじめ、渡辺支部長(株式会社芝橋 代表取締役)ら多くの皆様にもご協力いただき、完成した1冊です。校正を行う中、何度も何度も読み返し「これは面白い!」と確信した本です。また私の編集者人生の中でも、これほど時間をかけた本はありません。

現在は、全国の書店やネットショップなどで発売されています。ぜひこの魂の一冊をお手にとって、先輩経営者の経営人生に耳を傾けてください。最後に、本書に寄せた平林さんによる「まえがき」を掲載しておきます。

まえがき

この本を手にとってくださった皆さんに、心より感謝申し上げます。

皆さんは今、未来への希望と不安を胸に刻む大学生かもしれません。あるいは、日々の仕事に追われながらも、自己成長やキャリアの形成を模索するビジネスパーソンかもしれません。もしかしら、会社の未来を担い、昼夜を問わず奮闘されている企業経営者の方かもしれません。

(中略)

本書は、まさにその「生きた知恵」の宝庫です。本書には、多種多様な中小企業の経営者の方々に直接お話を伺い、彼らの壮絶な半生、事業への揺るぎない情熱、そして幾多の試練を乗り越えてきた「真実の物語」を丹念に編み込みました。彼らは決して、生まれながらにして特別な才能を持っていたわけではありません。貧しかった幼少期を送り、あるいは親の病を抱え、あるいは望まない形での家業承継に直面しています。時には愛すべき家族の死や、予測不能な経済状況による事業危機に直面するなど、私たちと同じように悩み、苦しみ、そして痛みを伴う決断を迫られてきました。しかし彼らは、どんな時も決して諦めることなく、自らの知恵と経験、そして何よりも「人」との繋がりを大切にしながら道を切り拓いてきたのです。

本書で紹介する経営者たちの経験から導き出された言葉は、我々の胸に刺さるものばかりです。「社員を信じて経営していく」という揺るぎない信念、「会社は道具、だからみんなで磨こうぜ」という社員への信頼、「遊び心で仕事をする」という言葉に隠された深い洞察、「自分のゴールを決めて、『今日やること』にまで落とし込め」という具体的な行動哲学、「ずっと戦い続けてきた」と振り返る逆境を乗り越える執念、「社員がいて、お客様がある」という顧客満足の前に社員を置く哲学、「当社の常識は一般企業の非常識」という差別化戦略、「人を束ねて、動かしていく」という組織論、「経営者としてのやりがい」は社員の成長」という利他的なリーダーシップ、「諦めずに前に進む」という不屈の精神、「人生は全て勉強、結局は人」という学びと人への普遍的な問いです。これら一つひとつの言葉には、彼らが身をもって経験し、苦勞の末につかみ取った「本物の教訓」が詰まっています。

彼らの語る人生には、ビジネス書では触れられない「苦悩」や「迷い」、「家族への思い」や「仲間への信頼」、そして何より「働くことの意味」が生々しく刻まれています。それは、経営者という枠を超え、一人の人間として生きることの重みと豊かさを教えてくれます。

本書が、これから社会へと羽ばたく大学生の皆さんにとって、将来のキャリアや生き方を考えるうえで多様な選択肢や可能性を示してくれる羅針盤となることを願っています。また、日々の仕事に奮闘するビジネスパーソンの方々の皆さんにとって、現状を打破するためのヒントや新たな挑戦への勇気を与えてくれるでしょう。そして事業の継続や発展に悩む企業経営者の皆さんにとって、共感と同時に新たな経営戦略や人材育成のヒント、さらには困難に立ち向かうための精神的な支えとなることを確信しています。

本書につづられた実践的な知恵と経験の積み重ねが、読者の皆さんの未来を切り拓く一助となれば幸いです。

2025年晩夏 平林正樹



三栄精機株式会社
代表取締役

松本真一氏より Pass the baton



推薦者

コトノハ株式会社 代表取締役

針谷周作氏



こちらから
ご購入できます

同友会大田支部が主催するイベント情報は、

同友会大田支部ホームページ

<https://ota-doyu.com>

にアクセス